

2学年通信

新宮町立新宮東中学校
令和7年4月14日 第3号
文責:江頭 俊輔

[学習面の確認を行いました！]

4月8日（火）の2時間めに学年集会を行い、学習面の確認を行いました。学校生活の中でも授業はとても大きな割合を占めます。ひとつひとつ授業の学習内容が1年後の高校入試の出題範囲となります。進路を考える上でも、日々の授業への取り組み方はとても大切です。学年集会の中でも菊池先生から説明があったように、**「学習効果が最も高い学習活動は「他者に教える」というものです。(一方で、一番学習効果が低いのは「(ただ) 講義を聞く」というものです。)**



学びの作法

聴き合う（訊き合う）関係を大切に
互いにわからないことを尋ね合い、声をかけ合い、
互いに依存できる関係を作る

- ルール1 分からなくなったら仲間に「教えて」と恥ずかしがらずに訊く
- ルール2 聞かれた人は、自分のアイデアを惜しみなく伝え、相手が納得するまで説明を繰り返す。
- ルール3 できる人から「教えてやる」と言ってはいけない。

授業で「分からぬることを尋ね合える関係」を作りましょう！

新宮東中学校の授業では「学びの作法」を大切にしています。（左図）お互いに分からぬことを聞き合い、お互いに依存できる関係を作ることをめざしています。この作法の中でも、2学年のみなさんに最も頑張ってほしいことは、「ルール1 分からなくなったら仲間に『教えて』と恥ずかしがらずに訊く」という部分です。学びの作法を通した学習において、大前提となるのが、この「分からぬ人が自ら尋ねる」ことです。授業を受けていて、分からぬことがあるのはとても自然なことです。分からぬことがあるから学習しているのが学生ですから。分からぬことはあって当然、「分からぬ」を発信してほしいと思っています。「分からぬ」を発信することで近くの級友は必ず助けてくれるはずです。説明する側にとっても学び・成長の機会になります。積極的に自分から「分からぬ」を発信し、みんなで授業を創り上げましょう。

[めざせ！一番高いペーパータワー！]

学びの作法を共有した後に、班でペーパータワーを作成するリレーション活動を行いました。4人班で30枚の紙を用いて、作戦を立てて最も高いペーパータワーを作成することをめざしました。最も高いものは193cmと江頭の身長よりも高いタワーができて驚きました。**自分から意見を出し合い、聞き合い、素敵な作戦会議ができました。この姿を学習にも生かしていきましょう。**

